

第4次大田原市地域 ICT 総合推進計画（案）に関する意見募集（パブリックコメント）の実施結果

- 1 名称 第4次大田原市地域 ICT 総合推進計画
- 2 計画案の公表日 令和4年12月8日（木）
- 3 意見公募期間 令和4年12月8日（木）～ 令和4年12月27日（火）
- 4 意見の提出状況 1名、0団体 （提出方法：郵送0件、ファクシミリ0件、電子メール：1件、持参0件）
- 5 提出された意見数 1件
- 6 提出された意見に対する市の考え方

No.	意見の内容	市の考え方
1	<p>大田原市として推進すべきことは、LPWAを活用した行政サービスの充実化とその展開を図ることだと考えています。</p> <p>LPWAとローカル5Gのどちらを推進するのか整理したうえで、政策や計画に反映できないでしょうか。</p>	<p>LPWAやローカル5Gの有用性につきましては、すでに調査・研究をまいりました。</p> <p>ご指摘いただいたとおり、世界的にLPWAの普及が進んでおりますが、中国やアフリカなどの国土が広く携帯電話回線エリア外を補完する通信回線として普及が進んでいる事例と、ニューヨークなどの大都市の下水道インフラ等の管理で活用されている事例がございます。</p> <p>日本においては、携帯電話回線の人口カバー率がほぼ100%であり、北海道を除けば農地の殆どが携帯電話回線エリア内であることから普及が進んでいないと見込んでおります。</p> <p>また、LPWAは900MHz帯の電波を使用しているため、山間部の起伏や平地においても防風林等が電波到達の障害となり、広いエリアをカバーするには鉄塔などの高い位置に通信設備を構築するか、多くの通信設備を構築する必要があり、構築費用・運用経費ともに高額になると見込んでおります。</p> <p>以上のことから、大田原市が主導的にLPWAを推進する計画はございませんが、農業分野や工場等でLPWAやローカル5Gを活用する事業者や団体につきましては、国や県と連携してどのような支援ができるか考えてまいりますのでご理解をお願いいたします。</p>